



**Tübingen International & European Studies (T-IES)**

**Doshisha EU Campus European Studies Program**

**September 1, 2024 – January 31, 2025**

<b>Course title:</b>	ヨーロッパの宗教（ドイツ・キリスト教の歴史と思想） Religion in Europe (History and Thought of German Christianity)
<b>Date:</b>	11月4日（月）～11月12日（火）
<b>Language of instruction:</b>	日本語
<b>Lecturer:</b>	村上 みか
<b>Contact hours:</b>	面接授業 13回、オンデマンド 2回

**COURSE DESCRIPTION**

ドイツは長いキリスト教の伝統をもち、人々の生活や思考のなかにもキリスト教的なものが入り込んでいます。この講義ではドイツの歴史に大きな影響を与えたキリスト教について学びます。ドイツでキリスト教がどのように受け入れられ、どのような展開を遂げたのか、中世から現代にいたる歴史と思想を取り上げます。たとえば世界史に大きな影響を与えたルターや宗教改革の出来事、J.S. バッハの優れた宗教音楽、さらには20世紀のナチズムとの関係など、文化や政治に関わるものも取り上げる予定です。これらの歴史の足跡は今日なお町の中に残されています。中世に建てられた教会を訪れ、教会音楽に耳を傾け、またナチズムの痕跡を辿るなど、現地ならではのフィールド・ワークも計画しています。

(Reference information in English) \*Please note this course is conducted in Japanese.

Germany has a long Christian tradition, and Christianity is embedded in people's lives and thinking. In this lecture, we will learn about Christianity's significant influence on German history. How was Christianity received in Germany, and how did it develop?

The course covers the history and development of Christianity in Germany from the Middle Ages to the present day. The course will also cover cultural and political issues, such as the impact of Luther and the Reformation on world history, the outstanding religious music of J.S. Bach, as well as the relationship with Nazism in the 20th century. These historical traces are still visible in towns today. Local fieldwork is planned, including visits to medieval churches, listening to church music, and tracing the traces of Nazism.

**LEARNING OBJECTIVES**

- ①ドイツのキリスト教の歴史と思想を正確に理解できるようになる。
- ②今日のドイツに残されている文化（音楽、美術、建築）や遺跡に触れ、それをキリスト教の歴史との関連で理解できるようになる。

## COURSE SCHEDULE

実施時期/Week	授業回/Number of Lesson 内容/Contents 授業計画外の学習 /Assignments	授業実施方法/How to Conduct a Lesson	授業実施時間数/Class Hours
第1週 D0 Week	オリエンテーション：授業概要の説明 ノートをまとめ、復習する。 (1 時間)	第1 回オンデマンド（動画視聴）/On-demand(watching video)	90 分/min.
11 月4 日（月） 8:30-10:00	キリスト教の基礎：イエス・キリストの生涯と教え ノートをまとめ、復習する。 (1 時間)	第2 回面接/Face-to-face	90 分/min.
11 月4 日（月） 10:30-12:00	中世におけるキリスト教： ・ゲルマン民族のキリスト教化 ・教会と教会文化（建築、絵画）の発展 ノートをまとめ、復習する。 (1 時間)	第3 回面接/Face-to-face	90 分/min.
11 月5 日（火） 8:30-10:00	宗教改革：マルティン・ルター ノートをまとめ、復習する。 (1 時間)	第4 回面接/Face-to-face	90 分/min.
11 月5 日（火） 10:30-12:00	プロテスタント教会の成立と発展 ノートをまとめ、復習する。 (1 時間)	第5 回面接/Face-to-face	90 分/min.
11 月6 日（水） 8:30-10:00	プロテスタントの教会音楽： J.S. バッハ ・「マタイ受難曲」の鑑賞 ノートをまとめ、復習する。 (1 時間)	第6 回面接/Face-to-face	90 分/min.
11 月6 日（水） 10:30-12:00	近代のキリスト教と神学思想 ノートをまとめ、復習する。 (1 時間)	第7 回面接/Face-to-face	90 分/min.
11 月7 日（木） 8:30-10:00	現代のキリスト教：歴史と神学 ノートをまとめ、復習する。 (1 時間)	第8 回面接/Face-to-face	90 分/min.
11 月7 日（木） 10:30-12:00	教会の歴史と文化：フィールド・ワークのための調査 各自の担当分の調査を完成させる。(1 時間)	第9 回面接/Face-to-face	90 分/min.
11 月8 日（金） 8:30-10:00	教会の歴史と文化：フィールド・ワーク ・現地（シュティーフツ教会）での発表 各自の発表内容を振り返り、適宜、修正して、レポートにまとめる。(1 時間)	第10 回面接/Face-to-face	90 分/min.
11 月8 日（金） 10:30-12:00	教会の歴史と文化：フィールド・ワーク ・現地（シュティーフツ教会）の見学 レポートを完成させる。(1 時間)	第11 回面接/Face-to-face	90 分/min.
11 月11 日（月） 8:30-10:00	テュービンゲンにおけるナチズム：フィールド・ワークのための調査と準備	第12 回面接/Face-to-face	90 分/min.

	各自の担当分の調査を完成させ、発表に向けて準備を行う。(1時間)		
11月12日(火) 8:30-10:00	チュービンゲンにおけるナチズム：フィールド・ワーク・現地(市内の各地)での発表 各自の発表内容を振り返り、適宜、修正して、レポートにまとめる。(1時間)	第13回面接/Face-to-face	90分/min.
11月13日(水) 8:30-10:00	チュービンゲンにおけるナチズム：フィールド・ワーク・現地(市内の各地)の見学レポートを完成させる。(1時間)	第14回面接/Face-to-face	90分/min.
授業期間終了後/After the Class Period	授業の振り返りと成績評価に対するコメント 自らの学びとその成果を振り返る。(1時間)	第15回オンデマンド(動画視聴)/On-demand(watching video)	90分/min.

## PREREQUISITES

とくになし

## COURSE REQUIREMENTS & GRADING

平常点(クラス参加, グループ作業の成果等) 30%

授業時の議論, グループワーク作業, フィールド・ワークへの積極的な参加を評価する。1回2点。

中間レポート試験 50%

問題を歴史的に考察し, 自分の言葉でまとめられているかを評価のポイントとする。

クラスで発表など 20%

フィールド・ワークでの発表を評価する。1回10点。

## READING (REQUIRED)

土井, 久松, 村上, 芦名, 落合 『1冊でわかるキリスト教史』初版(日本キリスト教団出版局, 2018), ISBN:978-4-8184-0998-9

テキストを含め, その他の参考文献は授業時に適宜, 指示する。

## INFORMATION ON THE LECTURER

<https://kendb.doshisha.ac.jp/profile/ja.6ff48df1c6cf7120.html>

## OTHER INFORMATION

2024年度ヨーロッパ・スタディーズEUキャンパスプログラム参加学生のみ、登録可能

科目担当者との連絡方法：e-classで行う